

# 「笑顔の学校」プロジェクト参加校を募集します！

《先生が元気な学校は、子どもたちも元気な学校！》

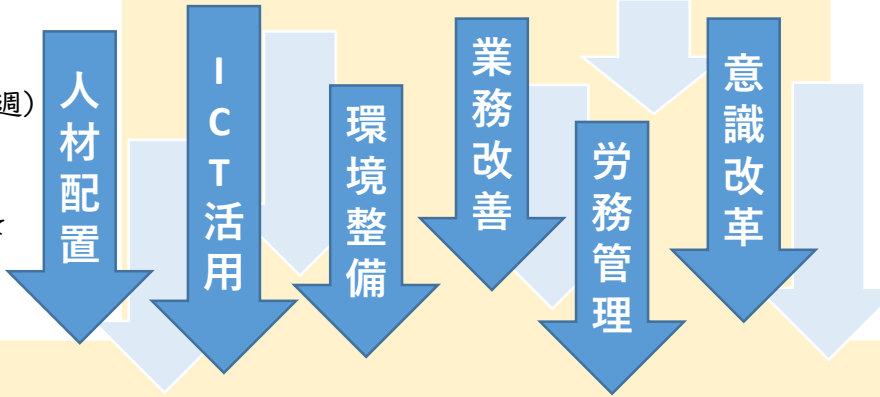


これまでの働き方を見直し、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りややりがいをもって勤務することで、子どもたちに対して、効果的で充実した教育活動を行うことができるよう、共に考えましょう！

各校の働き方に関する課題  
教職員の意識／業務内容・時間外勤務等の現状を把握し、学校が考える「自校が改善すべき課題」

教員業務支援員※  
配置（15時間／週）

※「教員業務支援員配置時間＝教職員の業務軽減時間」ではなく、支援員配置を起爆剤として教職員の時間外勤務時間縮減を最大限高める工夫をする実践を求む。



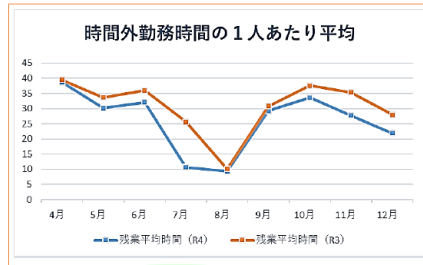
※「改訂版・全国の学校における働き方改革事例集」（令和4年2月文科省）や「GIGAスク！ひらかた」掲載の本市業務改善取組事例資料等を参考に、各校の実態に応じた取組を行う。

主体的に働き方改革の実践を行う。

## 時間外勤務時間の縮減

★時間外勤務の時間数（4～12月）

令和3年度 → 令和4年度



アシスタントの配置によって業務の整理、協働意識が進み、自身の働き方を見つめるきっかけになりました。

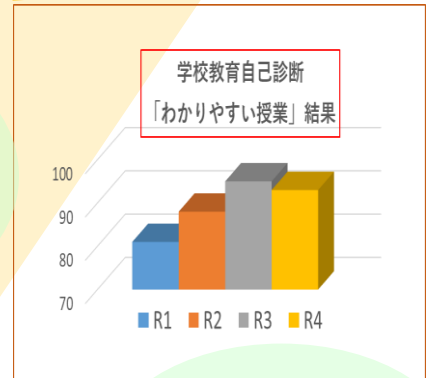
仕事楽しい！休みも楽しい！成長って楽しい！キラキラした先生が、キラキラした子どもを育てる！

私個人も、業務改善とは程遠い仕事の仕方をしてきたが、推進校として取組を進めたことで、職員も自分も元気になれるという発想に切り替わりました。

校内推進リーダーが誕生するなど、働き方を見直すことへの「当事者意識」や「ボトムアップ」の下地づくりができた。

※R4推進校の声

## 教育の質の向上



先生たちが一番時間をかけたいことは授業準備。自分ごととして業務改善に取組み、その先は「やってみよう授業」「やりがい」や「達成感」がある！

## 各校の学校教育目標の実現

本来、教員のすべき業務に時間をかけ、児童・生徒に対しよりよい教育を。

### ミッションⅠ

1月あたりの時間外勤務時間を、R4年度よりDown! 80時間以上である教職員ゼロをめざす!

### ミッションⅡ

学校教育自己診断「先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる」について肯定的回答UP!

※この取組は、学校園職場環境充実事務として、大阪府教育委員会SSS配置事業補助金を受け(予定)行うものです。

また、「学校園の管理運営に関する指針」P.29 基本方策3 9.学校園における働き方改革にかかるものです。

【指定方法】 (公募制) ※過去の推進校歴は問わない。各校の現状と課題に合わせ、多様な実践モデル校を求む。

・審査方法 プレゼン資料 A4 1枚(様式自由)  
※自校の課題や目標に対するアクションプランがわかるよう作成すること。  
ミッションⅠとⅡにかかる現状データと目標値は必須事項とする。

・メ切 令和5年4月19日(水) データ提出

・推進校期間 令和5年5月1日～令和6年3月31日

・担当 教職員課 伊藤(内線15-8039)